

生涯学習情報紙

2022



発行：大和村教育委員会事務局・中央公民館

第346号

農原弘久教育長再任について

令和4年9月30日までの任期となっていました村教育委員会教育長が9月21日行われた大和村議会の人事案で、10月1日付けで、農原弘久教育長の再任が承認されました。農原教育長は、仕事を終えたらランニングや花壇の手入れを楽しんで行っています。また、10月に出場します県民体育大会の水泳大会に向け、大和小学校、大和中学校の水泳競技を指導の傍ら、大会記録更新を目標に村民プールで練習に励んでいます。

(しげき校長の大和見聞録)



宮古崎トンネルの利便性

宮古崎トンネルの開通によって根瀬部と国直を峠越えすることなく高低差の無い道路で結ばれたことは、時間と利便性からみると大きな前進であると言えるでしょう。道路は町を作ると言われますが、このトンネルが大和村の発展に寄与することを期待しています。ところで隣町である奄美市の中心部に行くのに大和浜から宮古崎トンネルを含めて7つものトンネルを通過します。改めて奄美大島は本当に山が多いんだなあということを実感しています。

ところで道路建設の歴史を見たら世界で特に古い例として古代ローマの「ローマ街道」があります。今から約2300年余り前の紀元前312年より建設が始まったもので、最初はイタリアのローマを起点としてイタリア半島の主要都市を結ぶだけでしたが、ローマの支配地域が広がるにつれて地中海周辺の地域にも作られ、約150年後には主要幹線道路は約8万6km、全ての道路の総延長は29万kmにも達しました。道路を作った目的は緊急時に軍隊や物資を素早く移動させるため、出来るだけ直線で、谷間や山間は橋やトンネルを作り、高低差が無いように作られています。表面を石畳で覆われたその道路は車道と歩道に分かれ、作り方も細かい規格があり、とにかく頑丈に作られていて現在でもその一部が道路として使われているほどです。1マイル(約1.6km)毎に石柱が建てられています。また軍事に関係のない一般人も利用できたこのローマ街道は物流などの経済面でも大きく役立っています。私が凄いなあと感心するのは、あの時代に今で言う公道(社会資本)を作るという発想が出て、それを何百年もかけて実行したということです。街道のメンテナンスも毎年予算を作ってちゃんと行っていました。このことが古代ローマ(後のローマ帝国)をあれだけ栄えさせたことに繋がっているのかと思います。

宮古崎トンネルのおかげで大和村に多くの方が訪れ、観光と産業が大きく発展するといいですね。



村民体育大会 3年連続中止



10月30日(日)予定しておりました村民体育大会については開催の中止を決定しました。



各集落豊年祭3年連続開催中止



9月10日(土)大和小学校からの土曜授業の依頼で伝統文化の八月踊りを思勝青壮年団で児童への指導を行いました。3年振りの八月踊りで、唄をチジン(太鼓)に合わせ、踊りを行う訳ですが、予想以上に忘れていた部分があり、ブランクの大きさにショックを受けました。集落によっては一年を通して八月踊りの練習をしている所もありますが、コロナ感染症拡大に伴い、中止による伝統文化継承も危惧されています。また夏の「ひらとみ祭り」を皮切りに毎週の様に行事が開催される中、特に集落豊年祭でコミュニケーションが図られ、異年齢交流が地域活性化されていました。今年も豊年祭は開催中止ですが、10月に県民フェスタと奄美パーク20周年記念事業が開催され、大和浜集落の豊年祭の伝統芸能の「大和浜の棒踊り」を披露します。

生理の貧困について

生理の貧困とは、経済的な理由により生理用品を購入できないだけでなく、家庭の事情によって、生理用品が手に入らないことや、生理によって生じる痛みへの対処や不快さの解消に対する知識が不足していることなども含まれます。大和村においても役場や学校で生理用品を無料で提供します。支援の必要な方は大和村役場0997-57-2111までお問い合わせください。